

U380BT U340BT

MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC 対応 CD/USB/iPod レシーバー

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

株式会社 JVCケンウッド



My-Kenwood (ユーザー登録) のご案内

お買い上げいただきました製品を「登録」していただくと、ご使用いただいている製品のサポート情報のほかに、関連製品情報やイベント情報などをご案内いたします。

下記ウェブサイトで会員規約をご確認になり、My-Kenwoodをご利用ください。

<https://jp.my-kenwood.com>


U340BMS


MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC 対応 USB/iPod レシーバー

安全上のご注意(必ずお守りください)


あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。


■ 表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区別して、説明しています。


 **警告** 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意** 人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ お守りいただく内容の種類を絵記号で区別して、説明しています。


 注意 (しなければならない)の内容です。

 禁止 (してはいけない)の内容です。

 実行 (かならず行っていただく)の内容です。

取り付けや配線について




 本機はDC12V \ominus アース車以外で使用しない
火災や故障の原因になります。DC24V車(大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など)で使用しないでください。

エアバックの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしてはいけない

エアバックが誤動作し、死亡事故の原因になります。エアバック装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。

取り付けやアース配線に車の保安部品(ステアリング、ブレーキ、タンクなど)のボルトやナットを絶対に使用しない
制御不能や発火、交通事故の原因となります。

視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない
交通事故やケガの原因となります。

 **取り付け・配線は、安全のため専門技術者に依頼する**

取り付け・配線、取り外し、周辺機器の追加は専門技術が必要で、誤った取り付けや配線をするとうるに重大な支障をきたし交通事故の原因となります。安全のため必ずお買い上げの販売店にご相談ください。

説明書に従って取り付け・配線をする

火災や故障の原因となります。作業は手順とおりに正しく行ってください。



作業前に必ずバッテリーの⊖端子を外す

外さずに作業をするとショートによる感電やけがの原因となります。

作業前に、車体のパイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する

車体に穴を開けて取り付ける場合はパイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないよう注意して、加工部のサビ止め・浸水防止処理をしてください。火災や感電の原因となります。

必ず付属の部品や指定の部品を使用する

機器の損傷や確実に固定できず外れて事故や故障、火災の原因となります。

コード類は、運転を妨げないように引き回し固定する

ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する

断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コードの被覆のない部分はテープなどで絶縁する被覆がない部分が金属部に接触するとショートによる火災や感電、故障の原因となります。

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確かめる

車の電装品(ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど)が正常に動作しない状態で使用すると、火災や交通事故の原因となります。



ねじなどの小物部品は乳幼児の手の届かないところに置く

あやまって飲み込むおそれがあります。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。



注意



自動車のコンソールに取り付ける

本機の使用前または使用直後は、本機の背面や側面などの金属部分が高温になっています。直接触れるとやけどの原因となることがあります。取り外すときなどご注意ください。



直射日光やヒータの熱風が直接当たる場所に取り付けない

機器の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。

水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない

水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因となることがあります。

機器の通風口や放熱板をふさがない

機器の内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。



コードの扱いに注意する

コードを傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱機器に近づけるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となることがあります。

使用方法について

警告



分解・修理および改造はしない

分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは絶対におやめください。交通事故や火災、感電、故障の原因となります。



音量は、車外の音が聞こえない音量で使用しない

車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。

機器内部に、水や異物を入れない

金属物や燃えやすいものが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電の原因となります。飲み物などが機器にかからないようご注意ください。

故障や異常な状態のままで使用しない

画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してください。事故や火災、感電の原因となります。

運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視したりしない

必ず安全な場所に車を停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。



雷が鳴り出したら、アンテナコードや本機に触れない

落雷による感電の原因となります。



ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門業者に依頼する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。交換は、お買い上げの販売店、またはお近くのサービス窓口にご相談してください。

注意



本機を車載用以外で使用しない

発煙や発火、感電やけがの原因となることがあります。

使用中または使用直後は放熱器にふれない

本機の使用または使用直後は、本体の背面や側面などの金属部分が熱くなっています。本機を取り外すときは、直接触れることはお止めください。やけどをする場合があります。



可動部やディスク挿入口に手や指を入れない

モニター開閉や角度調整の時にはご注意ください。けがの原因となることがあります。

異常時の問い合わせ

警告



異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず販売店かサービス窓口にご相談する

そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

使用上のご注意

本機を使用していただくうえで、知っておいていただきたいことです。

異常にお気づきのときは(リセット方法)

本機の異常にお気づきのときは、「故障かな?と思ったら」(➡30)を参照して解決方法をお調べください。解決方法が見つからないときは、「操作パネル」(➡11)を参照して操作パネルを取り外し、本機のリセットボタンをペン先などで押してください。リセットボタンを押しても正常に戻らないときは、本機の電源を切り、お買上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターへ相談してください。

温度について(U380BT / U340BT)

直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。本機内部が60℃を超える高温になると、保護回路が動作してディスクの演奏ができなくなります。このようなときは、車内の温度を下げると、保護回路が解除され、演奏ができる状態になります。もし正常に動作しないときは本機のリセットボタン(➡11)を押してください。

結露について(U380BT / U340BT)

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露(水滴)が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではディスクの読み取りができなくなります。このようなときは、ディスクを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、お買上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。

機器の保管について

USB機器、iPhone/iPodを車内に放置しないようにしてください。直射日光や高温などの影響により、USB機器、iPhone/iPodが変形や故障する場合があります。

オートアンテナ付き車に取り付けた場合は

ラジオのアンテナが自動的に伸びるオートアンテナ車に取り付けた場合、本機の電源をオンすると、車両のアンテナが自動的に伸びます。天井の低い車庫に入る場合は、本機の電源をオフにするか、音源を“STANDBY”に切り替えてください。

レンズクリーナーについて(U380BT / U340BT)

レンズクリーナーは使用しないでください。光学系部品に損傷を与えたり、イジェクトができなくなるなど、故障の原因になる場合があります。

お手入れについて

本機の操作パネルが汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーを付けた布で汚れを落とし、その後クリーナーを拭き取ってください。スプレー式のクリーナーなどを直接本機に吹きかけると、本機の機構部品に支障を与える場合があります。また、固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

パネルと本機の端子について

操作パネルと本体間のコネクター端子が汚れると電源が入らない、音が出ない、表示がおかしいなど故障と思われる症状になることがあります。この場合は、操作パネルおよび本体のコネクター端子を柔らかな布で軽く拭いてください。



コネクター

使用上のご注意

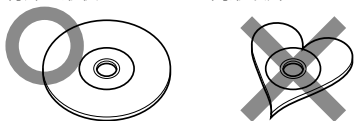
ディスクの使用上のご注意 (U380BT / U340BT)

- ディスクが汚れたときは、市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふき取ってください。レコード用クリーナー、静電防止剤やシンナー、ベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。
- 本機からディスクを取り出すときは、ディスクを下側に強く押さず、水平方向に引き出してください。ディスクを下側に押し、記録面に傷を付ける原因となります。
- 新しいディスクを使うときは、ディスクのセンターホールおよび外周部に「バリ」がないことを確認してください。「バリ」がついたまま使用すると、ディスクが挿入できなかつたり音飛びの原因になります。「バリ」があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。
- 音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー(スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど)は使用しないでください。故障の原因となります。
- 8cmCD、アダプターは使用できません。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因となります。

使用できないディスク (U380BT / U340BT)

以下のディスクは使用しないでください。

- 特殊な形状のディスク。円形以外のディスクは、故障の原因となります。



- 記録面(レーベル面の裏)に着色や汚れがあるディスク。引き込まれない、取り出せないなどの誤動作の原因になります。記録面には触れないようにお取り扱いください。

-  マークのないディスク。
正しく再生されない可能性があります。

- ファイナライズ処理していないCD-R、CD-RW。
お使いのCD-R/CD-RWライティングソフト、CD-R/CD-RWレコーダーの取扱説明書を参照して、記録を行った機器以外のプレーヤーでも再生できるようにするための処理(ファイナライズ処理)を行ってください。ただし、CD-R/CD-RWはファイナライズ処理をしていても、記録状態によって再生できない場合があります。
- 汚れ、傷、ゴミのついたディスク、反りのあるディスク。音飛びなどの誤動作や音質劣化の原因になることがあります。
- 表面に紙テープなどが貼られたディスク、ラベルのノリがはみ出したディスク。ディスクが取り出せなくなつたり、本機が故障することがあります。

表示できる文字について

本機で表示できる文字は、英大文字と数字のみです。

使用できるリモコンについて

本機は、リモコンが使用できます。使用できるリモコンについては、カタログをご覧になるか、購入店にお問い合わせください。なお、操作方法はリモコンに付属の取扱説明書に記載されています。

免責事項について

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

使用上のご注意

電波について

- 本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています(受けた部品を使用しています)。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。また、本機は、電気通信事業法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。
 - 分解/改造すること
 - 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと
- 本機は2.4GHz帯の周波数を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。ほかの無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

使用上のご注意

本機の使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、当社カスタマーサポートセンターにご連絡頂き、混信回避の処置等についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、当社カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

- 製品に表示している周波数表示の意味は下記の通りです。

2.4 FH 1

- 2.4 : 2.4GHz帯を使用する無線機器です。
- FH : FH-SS変調方式を表します。
- 1 : 電波干渉距離は10mです。
- : 全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能です。

- 使用可能距離は見通し距離約10 mです。鉄筋コンクリートや金属の壁等をはさんでトランスミッターとレシーバーを設置すると電波を遮ってしまい、音楽が途切れたり、出なくなったりする場合があります。本機を使用する環境により伝送距離が短くなります。
- 下記の電子機器と本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、雑音が発生するなどの不具合が生じることがあります。
 - 2.4GHzの周波数帯域を利用する無線LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話などの機器の近く。電波が干渉して音が途切れることがあります。
 - ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CSチューナー、VICSなどのアンテナ入力端子を持つAV機器の近く。音声や映像にノイズがのることがあります。
- 本機は電波を使用しているため、第三者が故意または偶然に傍受することが考えられます。重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。

使用上のご注意

ソフトウェア使用許諾契約書

【本製品をご使用前に必ずお読みください】

株式会社JVC ケンウッド(以下、「ライセンサー」)が提供する本体組み込みソフトウェア(以下、「許諾ソフトウェア」)はライセンサーが著作権を有するか、又は再使用許諾をする権利を有し、本契約はこの「許諾ソフトウェア」に関するお客様のご使用条件を定めたものです。

お客様は本件使用許諾契約書の内容にご同意のうえ、この「許諾ソフトウェア」をご使用いただくものと致します。お客様(以下、「使用者」)が「許諾ソフトウェア」を搭載した本製品をご使用された時点で本契約が成立したものと見なされます。

【使用許諾契約書】

第 1 条 (総則)

ライセンサーは、許諾ソフトウェアの国内における非独占的かつ第3条第1項に定める例外を除き譲渡不能な使用权を使用者に許諾します。

第 2 条 (使用权)

1. 本契約によって生ずる使用权とは、許諾ソフトウェアの本製品を使用する権利をいいます。
2. 使用者は、許諾ソフトウェアの一部もしくは全部を複製、複写もしくは修正、追加等の改変をすることができません。
3. 許諾ソフトウェアの使用は私的範囲に限定されるものとし、許諾ソフトウェアは営利目的を営と否に関わらず、いかなる目的でも頒布することができません。
4. 使用者は、許諾ソフトウェアを取扱説明書またはヘルプファイルに記載の使用方法に沿って使用するものとし、許諾ソフトウェアの全部または一部を用いて著作権法等の法規に違反するデータの使用、複製を行ってはならないものとします。また、指定PC へのネットワーク接続を用いて、使用者以外の第三者にこれを使用させることは許されいません。

第 3 条 (許諾条件)

1. 使用者は、本製品を譲渡する場合、内在する許諾ソフトウェア(その関連資料、アップデート版、アップグレード版を含む)の使用权については、自らの手元にオリジナル及び一切の複製物、関連資料を残さない事、又譲受人を本ソフトウェア使用許諾契約に従わせる事を条件に、移転できるものとします。
2. 使用者は許諾ソフトウェアに関し、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等のソースコード解析作業を行ってはならないものとします。

第 4 条 (許諾ソフトウェアの権利)

許諾ソフトウェア及びその関連書類に関する著作権等一切の権利は、ライセンサーまたはライセンサーに許諾ソフトウェアの使用、再許諾を許諾した原権利者(以下、原権利者)に帰属するものとし、使用者は許諾ソフトウェア及びその関連書類に関して本契約に基づき許諾された使用权以外の権利を有しないものとします。

第 5 条 (ライセンサーの免責)

1. ライセンサー及び原権利者は、使用者が本契約に基づき許諾された使用权を行使することにより生じた使用者もしくは第三者の損害に関していかなる責任も負わないものとします。但し、これを制限する別途法律の定めがある場合はこの限りではありません。
2. ライセンサーは「許諾ソフトウェア」について商品性、互換性及び特定目的に合致していることを保証致しません。

第 6 条 (第三者に対する責任)

使用者が許諾ソフトウェアを使用することにより、第三者との間で著作権、特許権その他の知的財産権の侵害を理由として紛争が生じたときは、使用者自身が自らの費用で解決するものとし、ライセンサー及び原権利者に一切の迷惑をかけないものとします。

第 7 条 (秘密保持)

使用者は、本契約により提供される許諾ソフトウェア、その関連書類等の情報及び本契約の内容のうち公然と知られていないものについて秘密を保持するものとし、ライセンサーの承諾を得ることなく第三者に開示または漏洩しないものとします。

第 8 条 (契約の解除)

ライセンサーは、使用者において次の各号の一に該当する事由があるときは、直ちに本契約を解除し、またはそれによって蒙った損害の賠償を使用者に対し請求できるものとします。

- (1) 本契約に定める条項に違反したとき
- (2) 差押、仮差押、仮処分その他強制執行の申立を受けたとき

第 9 条 (許諾ソフトウェアの廃棄)

前条の規定により本契約が終了した場合、使用者は契約の終了した日から2 週間以内に許諾ソフトウェア、関連書類及びその複製物を廃棄するものとします。

第 10 条 (著作権保護)

1. 許諾ソフトウェアに関する著作権及びその他一切の知的財産権は、ライセンサー及び現権利者に帰属するものであり、いかなる権利も使用者が有するものではありません。
2. 使用者は許諾ソフトウェアの使用に際し、著作権法及びその他の関連の法律に従うものとします。

第 11 条 (輸出規制)

1. 許諾ソフトウェアを日本国外に輸出すること(インターネット等を利用した国外送信を含みます)はできないものとなります。
2. 使用者は、許諾ソフトウェアが日本国およびアメリカ合衆国の輸出に関する規制の対象となることを了承するものとします。
3. 使用者は、許諾ソフトウェアに適用される一切の国際法および国内法(アメリカ合衆国の輸出管理規則、アメリカ合衆国、日本国及びその他の政府機関が定めるエンドユーザー、エンドユーザーによる使用及び輸出対象国に関する規制を含みます)に従うことに同意するものとします。

第 12 条 (その他)

1. 本契約の一部が法律によって無効となった場合でも、当該条項以外は有効に存続するものとします。
2. 本契約に定めなき条項もしくは本契約の解釈に疑義を生じた場合には、ライセンサー、使用者は誠意をもって協議し、解決するものとします。
3. ライセンサー及び使用者は、本契約が日本国の法律に準拠し、本契約から生ずる権利義務に関する紛争については、東京地方裁判所をもって第一審の専属管轄裁判所とする事に合意するものとします。

以上

Important Notice concerning the Software

-jansson

Copyright (c) 2009-2012 Petri Lehtinen <petri@digip.org>

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

-cJASON

Copyright (c) 2009 Dave Gamble

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

-CMP

The MIT License (MIT)

Copyright (c) 2014 Charles Gunyon

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

もくじ

安全上のご注意（必ずお守りください）	2
使用上のご注意	5
基本操作	11
はじめに	12
1 日付と時刻を合わせる	
2 初期設定をする	
外部接続機器を聞く	13
ラジオを聞く	14
CD/USB/iPod/ANDROIDを聞く	15
Spotifyを聞く	17
Bluetooth®機器を使う	18
音質を設定する	25
ディスプレイの表示を設定する	29
故障かな？と思ったら	30
その他の情報	33
配線・取り付け	35
保証とアフターサービス（必ずお読みください）	37
仕様	38

この取扱説明書の見かた

- 操作は本体の操作パネル上のボタンを使って説明しています。
- リモコンでの操作は、別売品のリモコン（KCA-RC406）をお使いください。
- (⇒ 数字) は、本文中の参照ページを示しています。

USBレートについて

USBレートは本機に表示されています。表示を見るには操作パネルを取りはずしてください。(⇒ 11)

交通情報を聞く

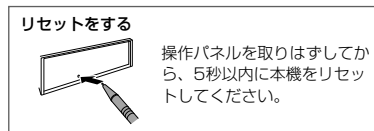
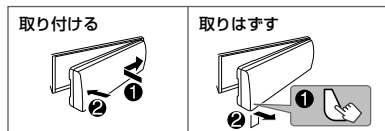
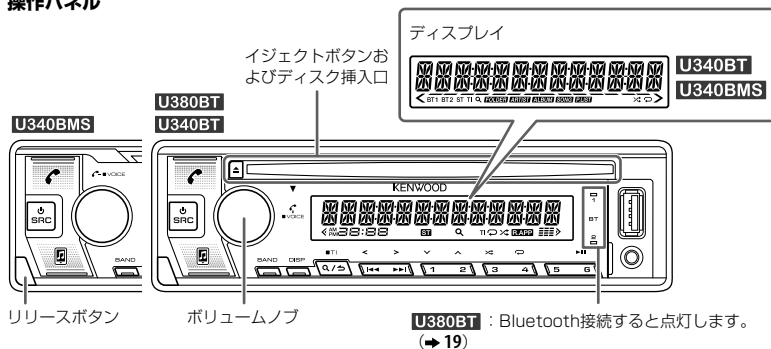
[Q/△]を押し続けると、交通情報を受信します。

交通情報受信中は“TI”表示が点灯します。

- もう一度[Q/△]を押し続けると、ひとつ前の状態に戻ります。
- 交通情報を受信中に[◀◀]/[▶▶]を押すと、受信周波数が1 620 kHzまたは1 629 kHzに切り換わります。
- 交通情報を受信中に音量を調節すると、その音量が自動的に記憶され、次に交通情報を受信したときも同じ音量で聞くことができます。
- 本機の操作モードで“MODE ON”が選ばれているときは、交通情報が終了してもiPodの再生は自動的に始まりません。再生を始めるには、[▶▶]を押してください。

基本操作

操作パネル



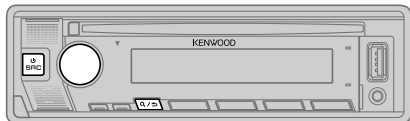
リモコン (KCA-RC406、別売品)

本機は、別売品のリモコンでも操作できます。



動作	操作パネル	リモコン
電源をオン/オフする	[SRC]を押す ・押し続けると電源がオフになります。	[SRC]を押し続け、電源をオフにする ([SRC]を押しても電源はオンにはなりません。)
音量を調節する	ボリュームノブを回す	[VOL \wedge]または[VOL \vee]を押す ・ [VOL \wedge]を押し続けると音量が15まで上がり続けます。
音源を切り換える	[SRC]を繰り返し押す	再生中に[ATT]を押して、一時的に音を小さくする ・ もう一度押すと、元の音量に戻ります。
ディスプレイの表示を変更する	[DISP]を繰り返し押す (➡ 34)	[SRC]を繰り返し押す (利用できません。)

はじめに



1 日付と時刻を合わせる

- 1 ボリュームノブを押して“FUNCTION”モードに入る
 - 2 ボリュームノブを回して“CLOCK”を選び、ボリュームノブを押す
- 時刻を合わせる
- 3 ボリュームノブを回して“CLOCK ADJUST”を選び、ボリュームノブを押す
 - 4 ボリュームノブを使い以下の順番で時間を合わせる
「時」→「分」（回して選択、押して確定）
 - 5 ボリュームノブを回して“CLOCK FORMAT”を選び、ボリュームノブを押す
 - 6 ボリュームノブを回して“12H”または“24H”を選び、ボリュームノブを押す

日付を合わせる

- 7 ボリュームノブを回して“DATE FORMAT”を選び、ボリュームノブを押す
- 8 ボリュームノブを回して“DD/MM/YY”（日/月/年）または“MM/DD/YY”（月/日/年）を選び、ボリュームノブを押す
- 9 ボリュームノブを回して“DATE SET”を選び、ボリュームノブを押す
- 10 ボリュームノブを使い以下の順番で日付を合わせる
「日」→「月」→「年」または「月」→「日」→「年」

[Q/⏏]を押すと、ひとつ前の設定項目に戻ります。

2 初期設定をする

- 1 [SRC]を繰り返し押してSTANDBYを選ぶ
- 2 ボリュームノブを押して“FUNCTION”モードに入る
- 3 ボリュームノブを回して設定したい項目を選び、ボリュームノブを押す（右表参照）
- 4 手順3を繰り返して項目を選び、設定する

[Q/⏏]を押すと、ひとつ前の設定項目に戻ります。

初期設定：XX

AUDIO CONTROL

SWITCH PREOUT **REAR/SUB-W**：リアスピーカーまたはサブウーファーを外部アンプを使って、背面のLINE OUT（ライン出力）端子に接続するかを選びます。（➡36）

DISPLAY

EASY MENU

（**U380BT**）

- “FUNCTION”モードに入るときに、
ON：“ZONE 1”のイルミネーションが白色になります。
OFF：“ZONE 1”は“COLOR SELECT”の色のままになります。
（➡29）
- “EASY MENU”の設定に限らず、“FUNCTION”モードに入ると、“ZONE 2”のイルミネーションが水色になります。
 - イルミネーションのゾーンを確認するには29ページのイラストをご覧ください。

TUNER SETTING

PRESET TYPE

- NORMAL**：バンドごとに、6つの放送局を登録できます。
MIX：バンドに関係なく、6つの放送局を登録できます。

SYSTEM

KEY BEEP

ON/OFF：操作時のピープ音をオン/オフにします。

SOURCE SELECT

SPOTIFY SRC

ON/OFF：この機能をオンにするとSPOTIFY/SPOTIFY BTを音源として選べるようになります。（➡17、25）

BUILT-IN AUX

ON/OFF：この機能をオンにするとAUX（外部機器）を音源として選べるようになります。（➡13）

CD READ

（**U380BT** / **U340BT**）

- 1：自動的にオーディオファイルのディスクと音楽CDを識別します。
- 2：音楽CDを再生します。オーディオファイルのディスクが再生されたときは、音は出ません。

F/W UPDATE

UPDATE SYSTEM

F/W UP xxxx	<p>YES：ファームウェアのアップデートを開始します。</p> <p>NO：キャンセルします。(アップデートは実行されません) ファームウェアのアップデートについては、下記URLをご覧ください。 <http://www.kenwood.com/jp/car/></p>
-------------	--

FACTORY RESET	YES/NO ：この機能を使うと設定が初期設定にリセットされます。(登録した放送局を除く)
---------------	--

CLOCK

CLOCK DISPLAY	ON/OFF ：この機能をオンにすると、本機の電源がオフのときでも、時計を表示します。
---------------	--

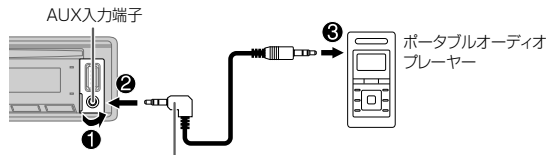
外部接続機器を聞く

準備：

“SOURCE SELECT”の“BUILT-IN AUX”で“ON”を選びます。(➡12)

再生する

- 1 ポータブルオーディオプレーヤー(市販品)を接続する



L字型コネクタのステレオミニプラグ(3.5 mm、市販品)

- 2 [⏪ SRC]を繰り返し押ししてAUXを選ぶ
- 3 ポータブルオーディオプレーヤーの電源をオンにして、再生を始める

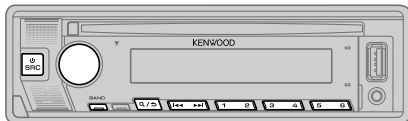
外部機器の名前を設定する

本機に接続しているポータブルオーディオプレーヤーを聞いているときに、

- 1 ボリュームノブを押しして“FUNCTION”モードに入る
- 2 ボリュームノブを回して“SYSTEM”を選び、ボリュームノブを押す
- 3 ボリュームノブを回して“AUX NAME SET”を選び、ボリュームノブを押す
- 4 ボリュームノブを回して設定したい名前を選び、ボリュームノブを押す
AUX(初期設定)/DVD/PORTABLE/GAME/VIDEO/TV

[Q/➡]を押すと、ひとつ前の設定項目に戻ります。

ラジオを聞く



FMステレオ放送を十分な電波の強さで受信しているときは“ST”表示が点灯します。

放送局を探す

- 1 [SRC]を繰り返し押ししてRADIOを選ぶ
- 2 [BAND]を繰り返し押しして（またはリモコンの[#FM+]/[*AM-]を押しして）、FM1、FM2、AM1、またはAM2を選ぶ
- 3 [◀]/[▶]（またはリモコンの[◀]/[▶] (+)）を押しして、放送局を探す

FMとAMそれぞれ12局ずつ（各バンドに6局）登録できます。

- 放送局を登録するには、登録したい数字ボタン[1]～[6]を押し続けます。
- 登録した放送局を受信するには、登録した数字ボタン[1]～[6]（またはリモコンの[1]～[6]）を押します。

放送局の周波数で選局する（リモコンを使う）

- 1 [DIRECT]を押す
- 2 数字ボタンを押して周波数を入力する
- 3 [ENT ▶]を押して選局する

- キャンセルするには、[↵]または[DIRECT]を押します。
- 手順2で周波数入力後10秒以上経過すると、周波数入力自動的にキャンセルされます。

その他の設定をする

- 1 ボリュームノブを押しして“FUNCTION”モードに入る
- 2 ボリュームノブを回して設定したい項目を選び、ボリュームノブを押す（下表参照）
- 3 手順2を繰り返して項目を選び、設定する

[Q/↵]を押すと、ひとつ前の設定項目に戻ります。

初期設定：XX

TUNER SETTING

SEEK MODE [[◀]/[▶]]ボタンを押すときの検索方法を選びます。
AUTO1：放送局を自動的に受信します。
AUTO2：登録している放送局を順番に受信します。
MANUAL：1ステップずつ周波数が変わります。

AUTO MEMORY **YES/NO**：この機能を使うと受信状態の良い放送局を自動的に6局登録します。
• “PRESET TYPE”で“NORMAL”が選ばれているときのみこの機能を使用できます。(▶ 12)

MONO SET **ON/OFF**：この機能を使うとFMステレオ放送をモノラルで受信することができます。受信状態が悪い放送局を聞いているときに設定すると、雑音が軽減されることがあります。

CD/USB/iPod/ANDROIDを聞く

選択可能な音源：

U380BT / U340BT : CD/USB/iPod/ANDROID

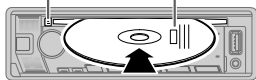
U340BMS : USB/iPod/ANDROID

再生する

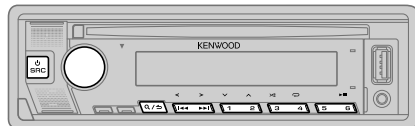
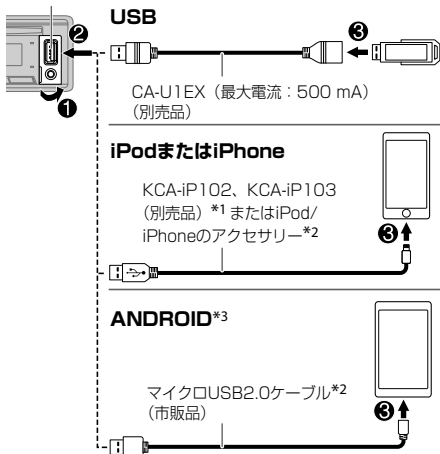
自動的に音源が切り換わり、再生が始まります。

CD

[▲] (ディスク取り出し) ボタン レーベル面を上にする



USB入力端子



動作	操作パネル	リモコン
再生/一時停止をする	[6] [II] を押す	[ENT] [II] を押す
早戻し/早送りをする*4	[◀◀]/[▶▶] を押し続ける	[◀◀]/[▶▶] (+) を押し続ける
曲またはファイルを選ぶ	[◀◀]/[▶▶] を押す	[◀◀]/[▶▶] (+) を押す
フォルダーを選ぶ*5	[2▲]/[1▼] を押す	[#FM+]/[*AM-] を押す
リピート再生をする*4*6	[4↺] を繰り返し押す	TRACK REPEAT / ALL REPEAT : 音楽CD FILE REPEAT / FOLDER REPEAT / ALL REPEAT : MP3/WMA/AAC/WAV / FLACファイル FILE REPEAT / FOLDER REPEAT / REPEAT OFF : iPod
ランダム再生をする*4*6	[3↻] を繰り返し押す	DISC RANDOM / RANDOM OFF : 音楽CD FOLDER RANDOM / RANDOM OFF : MP3/WMA/AAC/WAV / FLACファイル、またはiPod
		[3↻] を押し続けて、ALL RANDOM*7 を選ぶ

*1 KCA-iP102 : iPod用インターフェースケーブル、KCA-iP103 : Lightning - USBケーブル

*2 ケーブルは、車内に放置しないでください。

*3 KENWOOD MUSIC PLAY以外の再生アプリを使いAndroidで操作します。

*4 ANDROIDでは使えません。

*5 CDは、MP3/WMA/AACファイルのみ使えます。iPodまたはANDROIDでは使えません。

*6 iPodは、“MODE OFF”を選んでいときのみに使えます。(➡16)

*7 CDは、MP3/WMA/AACファイルのみ使えます。

CD/USB/iPod/ANDROIDを聞く

MUSIC DRIVEを選ぶ

音源がUSBのときに、**[5]**を繰り返し押す

以下に保存されている曲が再生されます。

- ・ スマートフォンの内蔵や外部メモリ（マスタレージクラス）
- ・ マルチドライブ機器中の選ばれたドライブ

KENWOODリモートアプリを設定する

KENWOODリモートアプリはKENWOODカーレシーバーをiPhone/iPodから操作するためのものです（USB入力端子使用）。

- ・ **U380BT**：KENWOOD リモートアプリがつながっているとき、ディスプレイに“R.APP”表示が点灯します。

準備：

- ・ 接続する前に最新バージョンのKENWOODリモートアプリをお使いの機器にインストールしてください。
- ・ 詳しくは
<http://www.kenwood.com/jp/products/car_audio/app/>をご覧ください。

Bluetooth接続と同じように設定ができます。（➡ 24）

TuneIn Radio/TuneIn Radio Proを聞く

iPodまたはiPhoneでTuneIn Radio/TuneIn Radio Proを聞いているときに、本機のUSB入力端子に接続すると、本機に接続しているスピーカーから音を出すことができます。

操作モードを選ぶ

音源がiPod USB（またはiPod BT）のときに、**[5]**を繰り返し押す

MODE ON： iPodをiPodで操作できます。再生/一時停止、曲やファイルの選択、早戻しまたは早送りは本機からも操作可能です。

MODE OFF： iPodを本機で操作できます。

フォルダーまたはリストからファイルを選ぶ

iPodの場合は、“MODE OFF”を選んだときのみ使えます。

- 1 **[Q/⏪]**を押す
- 2 ボリュームノブを回してフォルダーまたはリストを選び、ボリュームノブを押す
- 3 ボリュームノブを回してファイルを選び、ボリュームノブを押す

クイックサーチ（音源がCD、またはUSBのときのみ使えます）
ファイルが多くあるときに、速く検索できます。

ボリュームノブを速く回すとリストを速く見ることができます。

スキップサーチ（音源がiPod USBまたはiPod BTのときのみ使えます）

[◀◀]/[▶▶]を押すとあらかじめ設定された速さで検索ができます。
（➡17、“SKIP SEARCH”）

- ・ **[◀◀]/[▶▶]**を押し続けると、あらかじめ設定してある値（初期値：10%）の速さで検索ができます。

アルファベットで検索する（音源がiPod USBまたはiPod BTのときのみ使えます）

ファイルの頭文字で検索できます。

- 1 ボリュームノブを一度素早く回して、文字検索を始める
- 2 ボリュームノブを回して文字を選ぶ
 - ・ A～Zまたは0～9以外の文字の場合は、“*”を選びます。
- 3 **[◀◀]/[▶▶]**を押して、入力的位置を移動する
 - ・ 3文字まで入力できます。
- 4 ボリュームノブを押して検索を始める

- ・ ルートフォルダ/最初のファイル/トップメニューに戻るには、**[5]**を押します。（BT AUDIOではこの機能は使えません）
- ・ **[Q/⏪]**を押すと、ひとつ前の設定項目に戻ります。
- ・ キャンセルするには、**[Q/⏪]**を押します。

CD/USB/iPod/ANDROIDを聞く

曲番号またはファイル番号で探す (リモコンを使う)

- 1 [DIRECT]を押す
- 2 数字ボタンを押して、曲番号またはファイル番号を入力する
- 3 [ENT ▶ II]を押して、検索をする

- キャンセルするには、[↵]または[DIRECT]を押します。
- ランダム再生中は、この機能は使えません。
- 音源がiPod USBやANDROIDの場合は、この機能は使えません。

その他の設定をする

- 1 ボリュームノブを押して“FUNCTION”モードに入る
- 2 ボリュームノブを回して設定したい項目を選び、ボリュームノブを押す (下表参照)
- 3 手順2を繰り返して項目を選び、設定する

[Q/↵]を押すと、ひとつ前の設定項目に戻ります。

初期設定：XX

USB	
MUSIC DRIVE	DRIVE CHANGE：再生するドライブ (“DRIVE 1”~“DRIVE 4”) を選びます。目的のドライブに変更するには手順1~手順3を繰り返します。
SKIP SEARCH	0.5%/1%/5%/10%：サーチの速さは、総ファイル数との割合を%で示しています。

Spotifyを聞く

準備：

お使いの機器 (iPhone/iPod touch) に最新バージョンのSpotifyアプリをインストールして、アカウントをつくり、Spotifyにログインしてください。

- “SOURCE SELECT”の“SPOTIFY SRC”で“ON”を選びます。(→ 12)

再生する

- 1 お使いの機器でSpotifyアプリを開く
- 2 お使いの機器をUSB入力端子に接続する



- 3 [⊙ SRC]を繰り返し押ししてSPOTIFYを選ぶ
放送が自動的に開始されます。

*1 KCA-iP102：iPod用インターフェースケーブル、
KCA-iP103：Lightning - USBケーブル

*2 ケーブルは、車内に放置しないでください。

動作	操作パネル	リモコン
再生/一時停止 をする	[6 ▶ II]を押す	[ENT ▶ II]を押す
曲をスキップする	[◀◀]*3/[▶▶]を押す	[◀◀]*3/[▶▶] (+)を押す
サムズアップまたはサムズダウンを選ぶ*4	[2 ▲]/[1 ▼]を押す	[#FM+]/[*AM-]を押す
ラジオを聞く	[5]を押し続ける	(利用できません。)

*3、*4、*5：(→ 18)

Spotifyを聞く

動作	操作パネル	リモコン
リピート再生をする*5	[4↻]を繰り返し押す REPEAT ALL/REPEAT ONE*3/ REPEAT OFF	(利用できません。)
ランダム再生をする*5	[3⇄]を繰り返し押す*3 SHUFFLE ON/SHUFFLE OFF	(利用できません。)

*3 プレミアムアカウントをお持ちの方のみ使用可能です。

*4 この機能はラジオのトラックのみ使用可能です。サムズダウンを設定すると、その曲はスキップされます。

*5 プレイリストのトラックのみ使用可能です。

お好みの曲情報を保存する

Spotifyでラジオを聞いているときに、

ボリュームノブを押し続ける

“SAVED”と表示され、情報がSpotifyアカウントの“Your Music”または“Your Library”に保存されます。

保存を削除するには、同じ手順を行う

“REMOVED”と表示され、情報がSpotifyアカウントの“Your Music”または“Your Library”から削除されます。

曲または放送局を探す

- 1 [Q/⏏]を押す
- 2 ボリュームノブを回してリストタイプを選び、ボリュームノブを押す
Spotifyから送信されてくる情報によって表示されるリストタイプは異なります。
- 3 ボリュームノブを回して（またはリモコンの[▲]/[▼]を押して）曲または放送局を選ぶ
- 4 ボリュームノブ（またはリモコンの[ENT ▶||]）を押して確定する
ボリュームノブを素早く回して、リスト上で検索することができます。

キャンセルするには、[Q/⏏]を押します。

Bluetooth® 機器を使う

お使いの携帯電話のOSやファームウェアのバージョンによっては、本機でBluetooth機能を使うことができません。

Bluetooth — 接続

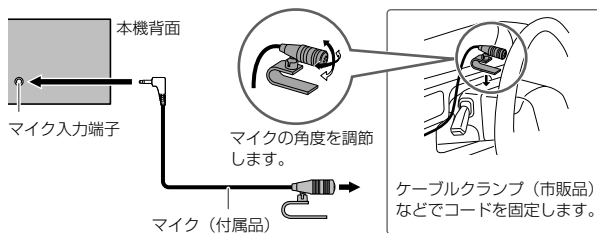
対応しているBluetoothのプロファイル

- Hands-Free Profile (HFP)
- Advanced Audio Distribution Profile (A2DP)
- Audio/Video Remote Control Profile (AVRCP)
- Serial Port Profile (SPP)
- Phonebook Access Profile (PBAP)

対応しているBluetoothのコーデック

- Sub Band Codec (SBC)
- Advanced Audio Coding (AAC)

マイクを接続する



Bluetooth® 機器を使う

Bluetooth機器をはじめめてペアリング・接続する

- 1 [0 SRC]を押して本機の電源をオンにする
- 2 Bluetooth機器で本機の名称 (U380BT/U340BT/U340BMS) を探して選ぶ
“PAIRING” → “PASS XXXXXX” → Device name → “PRESS” → “VOLUME KNOB”とディスプレイにメッセージが表示されます。
 - Bluetooth機器によっては、機器が検索された後にPINコードを入力する必要があります。
- 3 ボリュームノブを押してペアリングを開始する
ペアリングが終了すると“PAIRING OK”と表示されます。

ペアリングが終了すると、自動的にBluetooth接続されます。

- **U380BT** : 操作パネルの“BT1”か“BT2”、または両方が点灯します。
 - **U340BT / U340BMS** : ディスプレイの“BT1”表示か“BT2”表示、または両方が点灯します。
- 本機はSecure Simple Pairing (SSP) に対応しています。
- 合計5台まで登録 (ペアリング) できます。
- 一度ペアリングを行うと、本機をリセットしても、Bluetooth機器は登録されたままになります。登録された機器を削除するには → 22. “DEVICE DELETE”をご覧ください。
- 同時に2台のBluetooth搭載携帯電話とオーディオ機器を1台を接続することができます。
- ただし、BT AUDIOでは、5台のBluetooth機器を接続することができ、その中から1台を切り換えて選ぶことができます。 (→ 23)
- Bluetooth機器によっては、ペアリング後も、本機に自動的に接続されない場合があります。その場合は、手動で接続してください。
- 詳しくはお使いのBluetooth機器の説明書をご覧ください。

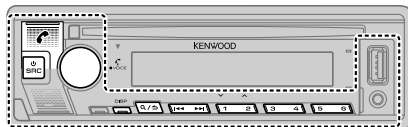
オートペアリングを起動する

iPhone、またはiPod touchをUSB入力端子に接続するとBluetoothのペアリングが自動的に起動します。

機器名を確認し、ボリュームノブを押す

- オートペアリングは次のような場合にオンになります。
- 接続している機器のBluetooth機能がオンになっている場合
 - “AUTO PAIRING”が“ON”になっている場合 (→ 23)

Bluetooth — 携帯電話



ZONE 2

電話を受ける

電話が来ると

- **U380BT** : “ZONE 2”が緑色に光り、点滅します。
- “AUTO ANSWER”で時間設定がされていると自動的に電話を受けます。 (→ 20)

通話中は

- **U380BT** : “ZONE 1”は“DISPLAY”で行った設定に従って光ります。また、“ZONE 2”は緑色に光ります。 (→ 29)
- 本機の電源を切ったり、操作パネルを取りはずすと、Bluetooth接続が解除されます。

Bluetooth® 機器を使う

接続している携帯電話によっては、以下の操作方法が異なったり、できないことがあります。

動作	操作パネル	リモコン
電話を受けるには		
電話を受ける	[]、ボリュームノブまたは [1]~[6]のどれかを押す	[]を押す
着信を拒否する	[Q/△]を押す	[]を押す
通話を終了する	[Q/△]を押す	[]を押す
通話中に		
通話中にいまの電話を保留して他の電話を受ける	[]を押す	[]を押す
通話中に他の着信を拒否する	[Q/△]を押す	[]を押す
通話を切り換えるには		
現在の通話を終了し、保留中の電話に切り換える	[Q/△]を押す	[]を押す
現在の通話と保留の電話を切り換える	[]を押す	[]を押す
受話音量を調節する*1 “00”~“35”、 (初期設定：“15”)	通話中にボリュームノブを回す	[VOL ^]*2または [VOL v]を押す
普通通話モードとハンズフリー通話を切り換える*3	通話中に[6▶]を押す	(利用できません。)

*1 ここで調節する音量は、他の音源の音量調節には影響しません。

*2 [VOL ^]を押し続けると音量が15まで上がり続けます。

*3 接続しているBluetooth機器によっては、操作方法が異なることがあります。

■ 送話音質を調節する

通話中に、

1 ボリュームノブを押して“FUNCTION”モードに入る

2 ボリュームノブを回して設定したい項目を選び、ボリュームノブを押す(下表参照)

3 手順2を繰り返して項目を選び、設定する

[Q/△]を押すと、ひとつ前の設定項目に戻ります。

初期設定：XX

MIC GAIN	-10~+10 (0) : 数値が大きくなるほど、マイクの感度が高くなります。
NR LEVEL	-5~+5 (0) : 通話中の雑音を低減するように調節します。
ECHO CANCEL	-5~+5 (0) : 通話時のエコーを低減するように調節します。

■ 電話を受けるための設定をする

1 []を押してBluetoothモードに入る

2 ボリュームノブを回して“SETTINGS”を選び、ボリュームノブを押す





3 ボリュームノブを回して“AUTO ANSWER”を選び、ボリュームノブを押す

4 ボリュームノブを回して、本機が自動で電話を受けるまでの時間(秒)を選び、ボリュームノブを押す
“01”~“30”、または“OFF”を選んでキャンセルします。(初期設定：“OFF”)

[Q/△]を押すと、ひとつ前の設定項目に戻ります。

電話をかける

電話番号をダイヤルするだけでなく、履歴や電話帳を使い電話をかけることができます。音声認識のついた携帯電話をお使いのときは、音声で電話をかけることもできます。

- 1 []を押してBluetoothモードに入る
最初の機器名が表示されます。
 - Bluetooth携帯電話を2台接続している場合は、もう一度[]を押すと別の携帯の機器名が表示されます。
2台目の機器名が表示されます。
- 2 ボリュームノブを回して設定したい項目を選び、ボリュームノブを押す（下表参照）
- 3 手順2を繰り返して項目を選び、選んだ項目の表中の指示に従って操作する
[ / ]を押すと、ひとつ前の設定項目に戻ります。

CALL HISTORY

（PBAPに対応していない携帯電話では使用できません。）


- 1 ボリュームノブを押して名前または電話番号を選ぶ
 - “I”（着信），“O”（発信），“M”（未受信）
 - [**DISP**]を押して“NUMBER（電話番号）”表示か“NAME（名前）”表示かを切り換えます。
 - 履歴が記録されていないときは、“NO DATA”と表示されます。
- 2 ボリュームノブを押して電話をかける

PHONE BOOK

（PBAPに対応していない携帯電話では使用できません。）

- 1 ボリュームノブを素早く回す
アルファベット検索モードになります。
“A”～“K”までの文字がディスプレイに表示されます。
 - “L”以降の文字列（“LMNOPQRSTUVWXYZ”または“WXYZ1*”）を表示するには、[**2** / **1**]を押します。
 - 最初のアルファベットを選ぶには、ボリュームノブを回すか、[**◀**] / [**▶**]を押してからボリュームノブを押します。
数字で始まる「名前」を選ぶときは、“1”を選びます。記号で始まる「名前」を選ぶときは、“*”を選びます。
 - 2 ボリュームノブを回して名前を選び、ボリュームノブを押す
 - 3 ボリュームノブを回して電話番号を選び、ボリュームノブを押して電話をかける
- ペアリング時に接続している携帯電話の電話帳が自動的に本機に転送されます。
 - 連絡先は次のように分けられます：HM（自宅）、OF（会社）、MO（携帯）、OT（その他）、GE（一般）
 - 電話帳は標準的なアルファベットのみ表示できます。アクセント記号は表示できません（“U”などは“U”と表示されます）。

NUMBER DIAL

- 1 ボリュームノブを回して数字（0～9）または記号（*、#、+）を選ぶ
- 2 [**◀**] / [**▶**]を押して、入力的位置を移動する
電話番号を入力し終わるまで、手順1と手順2を繰り返します。
- 3 ボリュームノブを押して電話をかける
（リモコンを使う場合）
 - 1 数字のボタン[**0**]～[**9**]を押して電話番号を入力する
 - 2 []を押して電話をかける

Bluetooth® 機器を使う

VOICE	電話をかけたい相手の名前を言う ボイスコマンドを使い、電話の他の機能を利用することもできます。 (▶音声認識で電話をかける)
LOW/MID/FULL	電池の残量を表示します。*
NO SIGNAL/LOW/MID/MAX*	現在受信している信号の強さを表示します。*

* お使いの携帯電話が対応しているときのみ使うことができます。

音声認識で電話をかける

- []を押し続ける
接続している携帯電話から音声認識で電話をかけられるようになります。
 - 電話をかけたい相手の名前を言う
ボイスコマンドを使い、電話の他の機能を利用することもできます。
- 対応している音声認識コマンドは携帯電話によって異なります。詳しくはお使いの携帯電話の説明書をご覧ください。

メモリの設定をする

連絡先を登録する

連絡先を数字ボタン[1]~[6]に登録することができます。

- []を押してBluetoothモードに入る
- ボリュームノブを回して“CALL HISTORY”、“PHONE BOOK”、または“NUMBER DIAL”を選び、ボリュームノブを押す
- ボリュームノブを回して、名前を選ぶか、電話番号を入力する
名前を選んだ後、ボリュームノブを押すと、電話番号を表示させることができます。
- 連絡先を登録する数字ボタン[1]~[6]を押し続ける
連絡先が登録されると“STORED”というメッセージが表示されます。

登録した連絡先を数字ボタンから消去するには、手順2で“NUMBER DIAL”を選び、手順3で番号を入力せず、手順4を行います。

登録されている番号に電話をかける

- []を押してBluetoothモードに入る
- 数字ボタン[1]~[6]を押す
- ボリュームノブを押して電話をかける
押した数字ボタンに連絡先が登録されていないときは、“NO MEMORY”というメッセージが表示されます。

その他の設定をする

- ボリュームノブを押して“FUNCTION”モードに入る
- ボリュームノブを回して設定したい項目を選び、ボリュームノブを押す（下表参照）
- 手順2を繰り返して項目を選び、選んだ項目の表中の指示に従って操作する
[Q/△]を押すと、ひとつ前の設定項目に戻ります。

初期設定：XX

BT MODE	
PHONE SELECT	接続または切断する携帯電話またはオーディオ機器を選びます。接続すると機器名の前に“*”が表示されます。 使用中のオーディオ機器の前に“▷”が表示されます。
AUDIO SELECT	• 同時に2台のBluetooth搭載携帯電話とオーディオ機器を1台を接続することができます。
DEVICE DELETE	<ol style="list-style-type: none">ボリュームノブを回して削除する機器を選び、ボリュームノブを押すボリュームノブを回して“YES”または“NO”を選び、ボリュームノブを押す
PIN CODE EDIT (0000)	PINコードを変更します（6桁まで）。 <ol style="list-style-type: none">ボリュームノブを回して数字を選ぶ[◀◀]/[▶▶]を押して、入力的位置を移動する PINコードを入力し終わるまで、手順1と手順2を繰り返します。ボリュームノブを押して決定する

Bluetooth® 機器を使う

RECONNECT	ON/OFF : この機能をオンにすると、最後に接続したBluetooth機器が感知範囲内に入った場合に、自動的に再接続します。
AUTO PAIRING	ON : iPhone/iPod touch機器がUSB端子に接続している場合に自動的にペアリングします。接続している機器のOSによっては、この機能が使えないことがあります。 OFF : この機能は使用しません。
INITIALIZE	YES : Bluetoothの全設定（登録しているペアリング、電話帳など）を初期化します。 NO : この機能は使用しません。


Bluetoothテストモード

本機とBluetooth機器間で使用できるプロファイルを確認できます。
• Bluetooth機器がペアリングされていないことを確認してください。

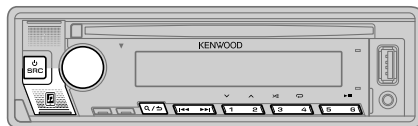
- [] を押し続ける
"PLEASE PAIR YOUR PHONE PIN 0000" (電話をペアリングしてください PIN 0000) というメッセージが表示されます。
- Bluetooth機器で本機の名称 (U380BT/ U340BT/U340BMS) を探して選ぶ
- Bluetooth機器を操作してペアリングする
本機のディスプレイ上に"TESTING" (テスト中) のメッセージが点滅します。

テスト終了後、以下の項目に "OK" または "NG" のテスト結果が表示されます。

PAIRING : ペアリングが可能か。
HF CNT : ハンズフリー通話に対応しているか。
AUD CNT : オーディオ機器としてA2DPプロファイルに対応しているか。
PB DL : 電話帳転送のためのPBAPプロファイルに対応しているか。




テストモードを終了するには、[ SRC] を押し続けて本機の電源をオフにします。
















Bluetooth — オーディオ



BT AUDIOでは、5台のBluetooth機器を接続することができ、その中から1台を切り換えて選ぶことができます。

オーディオ機器を聞く

- [ SRC] (またはリモコンの[ SRC]) を繰り返し押ししてBT AUDIOを選ぶ
• [] を押しすと、直接BT AUDIOモードに入ることができます。
- Bluetooth接続されているオーディオ機器の再生を本機で開始する

動作	操作パネル	リモコン
再生/一時停止をする	[] を押す	[] を押す
グループまたはフォルダーを選ぶ	[] / [] を押す	[ FM+] / [ AM-] を押す
曲/ファイルを選ぶ	[] / [] を押す	[] / [] (+) を押す
早戻し/早送りをする	[] / [] を押し続ける	[] / [] (+) を押し続ける
リピート再生をする	[] を繰り返し押し ALL REPEAT、FILE REPEAT、REPEAT OFF	(利用できません。)

Bluetooth® 機器を使う

動作	操作パネル	リモコン
ランダム再生をする	[3]を押して、 ALL RANDOM を選ぶ • [3]を押して RANDOM OFF を選びま す。	(利用できません。)
フォルダーまたはリスト からファイルを選ぶ	16ページの「フォルダ またはリストからファ イルを選ぶ」をご覧ください。	(利用できません。)
接続しているBluetooth オーディオ機器を切り 換える	[5]を押す*	(利用できません。)

* 接続している機器の再生ボタンを押して、機器からの出力を切り換えることもできます。

接続している機器により、操作やディスプレイ表示が異なることがあります。

KENWOODリモートアプリを設定する

KENWOODリモートアプリはKENWOODカーレシーバーをiPhone/iPod (Bluetooth接続またはUSB入力端子接続) またはAndroid (Bluetooth接続) から操作するためのものです。

- **U380BT** : KENWOOD リモートアプリがつながっているとき、ディスプレイに「R.APP」が点灯します。

準備 :

- 接続する前に最新バージョンのKENWOODリモートアプリをお使いの機器にインストールしてください。
- 詳しくは、<http://www.kenwood.com/jp/products/car_audio/app/>をご覧ください。

- 1 ボリュームノブを押して“FUNCTION”モードに入る
- 2 ボリュームノブを回して設定したい項目を選び、ボリュームノブを押す (下表参照)
- 3 手順2を繰り返して項目を選び、設定する

[Q/△]を押すと、ひとつ前の設定項目に戻ります。

初期設定: **XX**

REMOTE APP	
SELECT	アプリで使う機器 (IOSまたはANDROID) を選びます。
IOS	YES : iPhone/iPodが選ばれ、Bluetooth接続またはUSB入力端子接続でアプリを使用できます。 NO : この機能は使用しません。 IOSを選んだ場合は、iPod BT (お使いのiPhone/iPodがUSB入力端子に接続している場合は、iPod USB) の音源を選んで、アプリを立ち上げます。 <ul style="list-style-type: none">• 以下の場合、アプリの接続が中断または完全に切れる場合があります。<ul style="list-style-type: none">- 音源をiPod BTから、USB入力端子で接続している再生音源に切り換えた場合- 音源をiPod USBからiPod BTに切り換えた場合
ANDROID	YES : Androidが選ばれ、Bluetooth接続でアプリを使用できます。 NO : この機能は使用しません。
ANDROID LIST*	使用するAndroidをリストから選びます。
STATUS	選んだ機器の状態を表示します。 IOS CONNECTED : Bluetooth接続またはUSB入力端子接続しているiPhone/iPodを使ってアプリを使用することができます。 IOS NOT CONNECTED : アプリを使えるIOS機器が接続されていません。 ANDROID CONNECTED : Bluetooth接続しているAndroidを使ってアプリを使用することができます。 ANDROID NOT CONNECTED : アプリを使えるAndroid機器が接続されていません。

* “SELECT”の“ANDROID”が“YES”に設定されているときのみ、表示されます。

Bluetooth® 機器を使う

Bluetooth接続でiPhone/iPodを聞く

本機ではBluetooth接続でiPhone/iPodのトラックを聞くことができます。

[**Q SRC**]を繰り返し押ししてiPod BTを選びます。

- USB入力端子接続のiPod/iPhoneと同じようにiPod/iPhoneを操作することができます。(➡ 15)
- iPod BTの音源を再生中、USB入力端子にiPhone/iPodを接続すると、自動的にiPod USBに切り換わります。機器がBluetooth接続のときは、[**Q SRC**]を押ししてiPod BTを選びます。

Bluetooth接続でSpotifyを聞く

本機ではBluetooth接続でiPhone/iPod/AndroidのインターネットラジオやSpotifyを聞くことができます。

- USB入力端子に他の機器が接続されていないことを確認してください。

準備：

“SOURCE SELECT”の“SPOTIFY SRC”で“ON”を選びます。(➡ 12)

- 1 お使いの機器でSpotifyアプリを開く
 - 2 Bluetooth接続で機器をつなぐ(➡ 19)
 - 3 [**Q SRC**]を繰り返し押ししてSPOTIFY (iPhone/iPod) またはSPOTIFY BT (Android) を選ぶ
音源が切り換わり自動的に放送が開始されます。
- USB入力端子接続のSpotifyと同じようにSpotifyを操作することができます。(➡ 17)

音質を設定する

音源を聞いているときに、

- 1 ボリュームノブを押しして“FUNCTION”モードに入る
- 2 ボリュームノブを回して設定したい項目を選び、ボリュームノブを押す(下表参照)
- 3 手順2を繰り返しして項目を選び、選んだ項目の表中の指示に従って操作する

[**Q/ス**]を押すと、ひとつ前の設定項目に戻ります。

(リモコンを使う場合)

- 1 [**AUD**]を押しして“AUDIO CONTROL”を選ぶ
- 2 [**▲**]/[**▼**]を押しして設定したい項目を選び、[**ENT ▶ II**]を押す

[**Q/ス**]を押すと、ひとつ前の設定項目に戻ります。

初期設定：**XX**

AUDIO CONTROL	
SUB-W LEVEL	LEVEL -50~LEVEL +10 (LEVEL 0) : サブウーファーへの出力レベルを調節します。
EASY EQ	お好みに合わせて音声を調節する。 • 設定は“PRESET EQ”の“USER”に登録されています。 • 調節した設定は“MANUAL EQ”の現在の設定も変わります。
SW	LEVEL -50~LEVEL +10 (初期設定: LEVEL 0)
BASS	LEVEL -9~LEVEL +9 LEVEL 0
MID	LEVEL -9~LEVEL +9 LEVEL 0
TRE	LEVEL -9~LEVEL +9 LEVEL 0

音質を設定する

MANUAL EQ	音質（周波数、トーンレベル、Qファクター）はそれぞれあらかじめ設定されています。
62.5HZ	
LEVEL	LEVEL -9～LEVEL +9 (LEVEL 0) ：調節して、それぞれの音源の設定を保存します。（調節する前に、調節したい音源を選んでください）
BASS EXTEND	ON/OFF ：低音を響かせるバスエクステンド機能を設定します。
100HZ/160HZ/250HZ/400HZ/630HZ/1KHZ/1.6KHZ/2.5KHZ/4KHZ/6.3KHZ/10KHZ/16KHZ	LEVEL -9～LEVEL +9 (LEVEL 0) ：調節して、それぞれの音源の設定を保存します。（調節する前に、調節したい音源を選んでください）
Q FACTOR	1.35/1.50/2.00 ：Qファクター（先鋭度）を選びます。
PRESET EQ	NATURAL/ROCK/POPS/EASY/TOP40/JAZZ/POWERFUL/USER ：音楽ジャンルに合った設定を選びます。 （“USER”を選んで、“EASY”EQまたは“MANUAL EQ”の設定を選びます）
BASS BOOST	LV1/LV2/LV3/LV4/LV5/OFF ：低音を5段階で調節します。
LOUDNESS	LV1/LV2/OFF ：小さな音量で音楽を聞くときに不足しがちな低域と高域の音量を2段階で補正します。
SUBWOOFER SET	ON/OFF ：サブウーファ어를オン/オフします。
FADER	R15～F15 (0) ：前後の音量バランスを調節します。
BALANCE	L15～R15 (0) ：左右の音量バランスを調節します。
VOLUME OFFSET	-15～+6 (0) ：各音源の音量を初期設定にします。（調節をする前に、調節したい音源を選びます）

SOUND EFFECT

SOUND RECNSTR (Sound reconstruction)	（音源がRADIOおよびAUXのときは使用できません） ON ：圧縮オーディオで失われた高音域成分を補完してリアリティーのあるサウンドを再現します。 OFF ：この機能は使用しません。
SPACE ENHANCE	（音源がRADIOのときは使用できません） SML/MED/LRG/OFF ：音域の広がりをも3段階で調節します。
SND REALIZER	LV1/LV2/LV3/OFF ：リアリティーのあるサウンドを3段階で調節します。
STAGE EQ	LOW/MID/HI/OFF ：仮想的にスピーカーから聞こえる音の高さ位置を3段階で調節します。
DRIVE EQ	ON/OFF ：この機能をオンにすると周波数を上げてロードノイズの影響を軽減することができます。

SPEAKER SIZE

選んだスピーカー用のクロスオーバーの周波数とスロープの設定は自動的に設定されます。					
FRONT	<table border="1"> <tr> <td>SIZE</td> <td>8CM/10CM/12CM/13CM/16CM/17CM/18CM/4×6/5×7/6×8/6×9/7×10：接続しているスピーカーのサイズに合わせて選びます。</td> </tr> <tr> <td>TWEETER</td> <td>SMALL/MIDDLE/LARGE：接続しているフロントスピーカーのツイーターのおおよその大きさに合わせて選びます。 NONE：接続しません。</td> </tr> </table>	SIZE	8CM/10CM/12CM/13CM/16CM/17CM/18CM/4×6/5×7/6×8/6×9/7×10 ：接続しているスピーカーのサイズに合わせて選びます。	TWEETER	SMALL/MIDDLE/LARGE ：接続しているフロントスピーカーのツイーターのおおよその大きさに合わせて選びます。 NONE ：接続しません。
SIZE	8CM/10CM/12CM/13CM/16CM/17CM/18CM/4×6/5×7/6×8/6×9/7×10 ：接続しているスピーカーのサイズに合わせて選びます。				
TWEETER	SMALL/MIDDLE/LARGE ：接続しているフロントスピーカーのツイーターのおおよその大きさに合わせて選びます。 NONE ：接続しません。				
REAR	8CM/10CM/12CM/13CM/16CM/17CM/18CM/4×6/5×7/6×8/6×9/7×10 ：接続しているスピーカーのサイズに合わせて選びます。 NONE ：接続しません。				
SUBWOOFER	16CM/20CM/25CM/30CM/38CM OVER ：接続しているスピーカーのサイズに合わせて選びます。 NONE ：接続しません。				

音質を設定する

X'OVER		
TWEETER	FRQ	1KHZ/1.6KHZ/2.5KHZ/4KHZ/5KHZ/6.3KHZ/8KHZ/10KHZ/12.5KHZ : ハイパスフィルターのカットオフ周波数を選びます。ツイーターには、この周波数より高い周波数の信号が送られます。
	GAIN LEFT	-8~0 : 左ツイーターの出力レベルを調節します。
	GAIN RIGHT	-8~0 : 右ツイーターの出力レベルを調節します。
FRONT HPF	F-HPF FRQ	30HZ/40HZ/50HZ/60HZ/70HZ/80HZ/90HZ/100HZ/120HZ/150HZ/180HZ/220HZ/250HZ : ハイパスフィルターのカットオフ周波数を選びます。スピーカーには、この周波数より高い周波数の信号が送られます。 THROUGH : 全周波数帯の信号がスピーカーに送られます。
	F-HPF SLOPE	-6DB/-12DB/-18DB/-24DB:ハイパスフィルターのスロープの設定をします。数値が大きいくほどスロープの角度が大きくなります。 (“F-HPF FRQ”に“THROUGH”が選択されていた場合は表示されません)
	F-HPF GAIN	-8~0 : 選択したスピーカーの出力レベルを調節します。
	REAR HPF	R-HPF FRQ
	R-HPF SLOPE	(FRONT HPF設定をご覧ください)
	R-HPF GAIN	

SUBWOOFER LPF	SW LPF FRQ	30HZ/40HZ/50HZ/60HZ/70HZ/80HZ/90HZ/100HZ/120HZ/150HZ/180HZ/220HZ/250HZ : ローパスフィルターのカットオフ周波数を選びます。サブウーファーには、この周波数より低い周波数の信号が送られます。 THROUGH : 全周波数帯の信号がサブウーファーに送られます。
	SW LPF SLOPE	-6DB/-12DB/-18DB/-24DB : ローパスフィルターのスロープの設定をします。数値が大きいくほどスロープの角度が大きくなります。 (“SW LPF FRQ”に“THROUGH”が選択されていた場合は表示されません)
	SW LPF PHASE	REVERSE (180°)/NORMAL (0°):サブウーファーの位相を選びます。
	SW LPF GAIN	-8~0 : サブウーファーの出力レベルを調節します。

DTA SETTINGS 設定するには、➡ 28、デジタルタイムアライメントの設定を
CAR SETTINGS をご覧ください。

- “SWITCH PREOUT”が“SUB-W”に設定されているときのみ、以下を選ぶことができます。
 (➡ 12)
 - “SUB-W LEVEL”、“SUBWOOFER SET”
 - “EASY EQ”の“SW LEVEL”
 - “SPEAKER SIZE”の“SUBWOOFER”
 - “X'OVER”の“SUBWOOFER LPF”
 - “DISTANCE”の“SUBWOOFER”および“DTA SETTINGS”の“GAIN”
- “SUBWOOFER SET”が“ON”に設定されているときのみ、以下を選ぶことができます。
 (➡ 26)
 - “SUB-W LEVEL”
 - “EASY EQ”の“SW LEVEL”
 - “SPEAKER SIZE”の“SUBWOOFER”
 - “X'OVER”の“SUBWOOFER LPF”
 - “DISTANCE”の“SUBWOOFER”および“DTA SETTINGS”の“GAIN”

音質を設定する

- “SPEAKER SIZE”の“TWEETER”、“REAR” および“SUBWOOFER”に“NONE”以外の設定が選ばれているときのみ、以下を選ぶことができます。
- “X’OVER”の“TWEETER”、“REAR HPF”および“SUBWOOFER LPF”
- スピーカーサイズ (“SPEAKER SIZE”、 ➡ 26) を選んだら、選んだスピーカー用のクロスオーバーの周波数とスロープの設定は自動的に設定されます。

デジタルタイムアライメントの設定をする

デジタルタイムアライメントはスピーカー出力のタイミングを設定し、車両に合ったよりよい環境を作ります。

- 詳しくは ➡ 29、“DTA SETTINGS”の“DISTANCE”および“GAIN”の値を設定するをご覧ください。

DTA SETTINGS

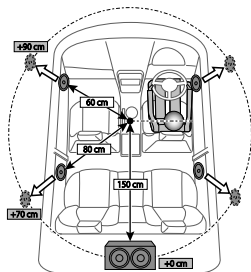
POSITION	リスニングポジション（基準点）を選びます。 ALL ：全座席 FRONT RIGHT ：右前座席 FRONT LEFT ：左前座席 FRONT ALL ：前座席
DISTANCE	0CM～610CM：スピーカーとの距離を正しく調節してください。 (調節する前に、スピーカーを選んでください)
GAIN	-8DB～0DB：選択したスピーカーの出力レベルを正しく調節します。 (調節する前に、スピーカーを選んでください)
DTA RESET	YES ：選択した“POSITION”の (“DISTANCE”と“GAIN”) を初期値に戻します。 NO ：この機能は使用しません。

CAR SETTINGS	車両タイプとリアスピーカーの位置を確認して“DTA SETTINGS”の設定をします。
CAR TYPE	COMPACT/FULL SIZE CAR/WAGON/MINIVAN/SUV/MINIVAN (LONG) ：車両タイプを選びます。 OFF ：車両タイプを選びません。
R-SP LOCATION	リアスピーカーの位置を選んで、選んだリスニングポジション（基準点）までのディレイタイムを計算し設定します。 <ul style="list-style-type: none">• DOOR/REAR DECK：“CAR TYPE”が“OFF”、“COMPACT”、“FULL SIZE CAR”、“WAGON”または“SUV”の設定のときのみ選べます。• 2ND ROW/3RD ROW：“CAR TYPE”が“MINIVAN”または“MINIVAN (LONG)”の設定のときのみ選べます。

- “DTA SETTINGS”の“DISTANCE”および“GAIN”の調節をする前に、スピーカーを選んでください。
FRONT LEFT/FRONT RIGHT/REAR LEFT/REAR RIGHT/SUBWOOFER：
“SPEAKER SIZE”の“REAR”および“SUBWOOFER”に“NONE”以外が設定されているときのみ、“REAR LEFT”、“REAR RIGHT”および“SUBWOOFER”を選ぶことができます。
- “CAR SETTING”の“R-SP LOCATION”は、“SPEAKER SIZE”の“REAR”に“NONE”以外が設定されているときのみ選ぶことができます。

音質を設定する

“DTA SETTINGS”の“DISTANCE”および“GAIN”の値を設定する



現在選んでいるリスニングポジションからすべてのスピーカーまでの距離を指定すると、以下の手順でディレイタイムが自動的に計算され設定されます。

- 1 基準点として現在設定されているリスニングポジションの中心を決定する
- 2 基準点からスピーカーまでの距離を測る
- 3 最も速くあるスピーカー（リアスピーカー）と他のスピーカーとの距離を計算する
- 4 手順3でそれぞれのスピーカーに計算された“DISTANCE”を設定する
- 5 それぞれのスピーカーの“GAIN”を調節する

例：“FRONT ALL”がリスニングポジションとして選ばれている場合

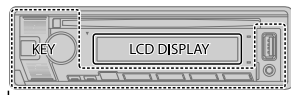
ディスプレイの表示を設定する

U380BT：色と明るさが設定できるゾーン



ALL ZONE

U340BT / U340BMS：明るさが設定できるゾーン



ALL ZONE

- 1 ボリュームノブを押して“FUNCTION”モードに入る
- 2 ボリュームノブを回して設定したい項目を選び、ボリュームノブを押す（下表参照）
- 3 手順2を繰り返して項目を選び、選んだ項目の表中の指示に従って操作する

[Q/➔]を押すと、ひとつ前の設定項目に戻ります。

初期設定：XX

DISPLAY

COLOR

(U380BT)

SELECT


“All ZONE”、“ZONE 1”および“ZONE 2”の色をそれぞれ選んでください。

- 1 エリアを選ぶ（上記イラスト参照）
- 2 選んだイルミネーションのゾーン（ZONE）の色を選ぶ
INITIAL COLOR/VARIABLE SCAN/CUSTOM R/G/B/ RED1/RED2/RED3/PURPLE1/PURPLE2/
PURPLE3/PURPLE4/BLUE1/BLUE2/BLUE3/SKYBLUE1/SKYBLUE2/LIGHTBLUE/AQUA1/
AQUA2/GREEN1/GREEN2/GREEN3/YELLOWGREEN1/YELLOWGREEN2/YELLOW/ORANGE1/
ORANGE2/ORANGERED

好きな色に調節したいときは“CUSTOM R/G/B”を選んでください。自分で調節した色は“CUSTOM R/G/B”に登録されます。

- 1 ボリュームノブを押す
- 2 [◀◀]/[▶▶]を押して調節する色（R/G/B＝赤/緑/青）を選ぶ
- 3 ボリュームノブを回して色を調節し（0～9）、ボリュームノブを押して決定する

ディスプレイの表示を設定する

DIMMER	<p>ディスプレイのイルミネーションを暗くします。 ON/OFF：ディマー設定をオン/オフにします。 DIMMER TIME：ディマーのタイマーを設定します。</p> <p>1 ボリュームノブを回して設定したい"ON"の時間を選び、ボリュームノブを押す 2 ボリュームノブを回して設定したい"OFF"の時間を選び、ボリュームノブを押す (初期設定："ON"：6:00PM；"OFF"：6:00AM)</p>
BRIGHTNESS	<p>1 ゾーンを選ぶ (➔ 29) 2 LVL 0～LVL 31：選んだゾーンをお好みの明るさにする</p>
TEXT SCROLL	<p>AUTO：5秒間隔でスクロールを繰り返します。 ONCE：表示情報を1回スクロールします。 OFF：この機能は使用しません。</p>
LEVEL METER	<p>(U380BT) ON：レベルをディスプレイに表示します (以下参照)。 OFF：この機能は使用しません。</p> <div style="text-align: center;">  <p>レベル</p> </div>

故障かな？と思ったら

	症状	対処方法
一般	音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> 音量を調節してください。 接続コードや配線を確認してください。
	"MISWIRING CHECK WIRING THEN PWR ON"と表示される	電源をオフにして、スピーカーコードがショートしていないことを確認してください。確認後、もう一度電源をオンにしてください。
	"PROTECTING SEND SERVICE"と表示される	お近くのJVCケンウッドカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。
	音源が選択できない	<ul style="list-style-type: none"> "SOURCE SELECT"の設定を確認してください。(➔ 12)
	<ul style="list-style-type: none"> 音が出ない 電源がオンにならない 表示がおかしい 	コネクターを柔らかい布で軽くふいてください。(➔ 5)
ラジオ	本機が動作しない	本機をリセットしてください。(➔ 11)
	ディスプレイの表示が正確でない(アルバム名など)	本機は英大文字と数字しか表示できません。
	<ul style="list-style-type: none"> ラジオの感度が悪い ラジオに騒音が入る 	アンテナをしっかりと接続してください。
CD/iUSB/iPod	ディスクが取り出せない	ディスクが完全に排出されるまで[▲]を押し続けてください(ディスクが排出されるときに、ディスクを落とさないように気をつけてください)。それでも取り出せないときは、本機をリセットしてください。(➔ 11)
	雑音が入る	他の曲を選ぶか、ディスクを取り換えてください。
	"READING"が点滅し続ける	<ul style="list-style-type: none"> 階層を複雑にしたり、フォルダー数をあまり多くしないでください。 ディスクを入れ直すか、機器(USB/iPod/iPhone)を接続し直してください。

故障かな？と思ったら

症状	対処方法
再生の順番が思ったとおりではない	再生の順番はファイルが保存された順番（ディスク）、またはファイル名の順番で（USB）決まります。
経過時間が正確でない	録音方法によっておこります（ディスク/USB）。
[Q/⏪]を押して検索モードに入ると“LOADING”と表示される	本機がiPodまたはiPhoneのミュージックリストを準備しています。時間がかかる場合があります。時間を置いて試してください。
“NA FILE”	再生できるファイルがあることを確認してください。（➡33）
“NO DISC”	再生可能なディスクをディスク挿入口に入れてください。
“TOC ERROR”	ディスクのクリーニングをして、正しい向きで挿入し直してください。
“PLEASE EJECT”	本機をリセットしてください。それでもエラーメッセージが表示されるときは、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。
“NO DEVICE”	USB機器を接続し、もう一度、音源をUSBにしてください。
“COPY PRO”	コピープロテクトされているファイルが再生中です。
“UNSUPPORTED DEVICE”	<ul style="list-style-type: none"> 接続している機器が本機に対応しているか、ファイルフォーマットがシステムに対応していることを確認してください。（➡33） 機器を取り付け直してください。
“UNRESPONSIVE DEVICE”	USB機器が正常に動作することを確認して、機器を取り付け直してください。
“USB HUB IS NOT SUPPORTED”	<ul style="list-style-type: none"> 本機ではUSBハブを介して接続しているUSB機器は使えません。

CD/USB/iPod

症状	対処方法
<ul style="list-style-type: none"> 他の音源を聞いているときにUSB機器を接続しても、音源が“USB”に切り換わらない “USB ERROR”が表示される 	USBポートが制限以上に電源を使っています。本機の電源をオフにして、USB機器を取りはずし、もう一度電源をオンにしてUSB機器を接続し直してください。それでも問題が解決しない場合は、本機の電源をオフにして、もう一度オンにして（またはリセットして）から他のUSB機器を接続してください。
iPod/iPhoneの電源がオンにならない、または使えない	<ul style="list-style-type: none"> 本機とiPod/iPhoneの接続を確認してください。 iPod/iPhoneを取りはずして、ハードリセットしてください。
“NO MUSIC”	再生可能なオーディオファイルが記録されたUSB機器を接続してください。
“iPod ERROR”	<ul style="list-style-type: none"> iPodを接続し直してください。 iPodをリセットしてください。
<ul style="list-style-type: none"> 音が出ない Androidの音しか出ない 	<ul style="list-style-type: none"> Androidを接続し直してください。 Androidの再生アプリで再生してください。 もう一度、使用中のAndroidの再生アプリを使うか、他の再生アプリで再生してください。 Androidを再起動してください。 それでも問題が解決しない場合は、接続しているAndroidから本機にオーディオ信号が送られていません。（➡33） USB接続ができない場合は、BluetoothまたはAUX入力端子でAndroidを接続してください。
“NO DEVICE”または“READING”が点滅し続ける	<ul style="list-style-type: none"> Androidを接続し直してください。 USB接続で使えない場合は、BluetoothまたはAUX入力端子でAndroidを接続してください。
再生時に音が飛んだり、途切れる	Androidの節電モードをオフにしてください。

ANDROID

故障かな？と思ったら

症状	対処方法
ANDROID	<p>"NO MUSIC"/ "ANDROID ERROR"</p> <ul style="list-style-type: none"> 再生できるファイルがあることを確認してください。 Androidを接続し直してください。 Androidを再起動してください。
Spotify	<p>"DISCONNECTED"</p> <p>機器がUSB入力端子に接続されていません。機器を正しくUSB接続していることを確認してください。</p>
	<p>"CONNECTING"</p> <ul style="list-style-type: none"> USB入力端子に接続している場合：接続中です。しばらくお待ちください。 Bluetooth接続している場合：Bluetoothが接続されていません。Bluetoothを正しく接続していることを確認して、お使いの機器と本機をペアリングして、正しく接続していることを確認してください。
	<p>"CHECK APP"</p> <p>Spotifyアプリが正しく接続されていない、またはログインがされていません。Spotifyアプリを終了して再起動し、もう一度Spotifyアカウントにログインしてください。</p>
Bluetooth®	<p>Bluetooth機器が検出されない</p> <ul style="list-style-type: none"> Bluetooth機器から、再度検出してください。 本機をリセットしてください。(➡11)
	<p>Bluetooth機器とのペアリングができない</p> <ul style="list-style-type: none"> 本機とBluetooth機器に同じPINコードが入力されていることを確認してください。 本機とBluetooth機器からペアリングの情報を削除し、もう一度、ペアリングを実行してください。(➡19)
	<p>通話中にエコーがかかる、または雑音が入る</p> <ul style="list-style-type: none"> マイクの位置、角度を調節してください。(➡18) "ECHO CANCEL"の設定を確認してください。(➡20)
	<p>通話品質が悪い</p> <ul style="list-style-type: none"> Bluetooth機器を本機に近づけてください。 車両を電波状況の良い場所に移動させてください。

症状	対処方法
Bluetooth®	<p>音声やボイスコマンドが正しく認識されない</p> <ul style="list-style-type: none"> 静かな場所でマイクに向かって発声してください。 マイクの近くで「名前」を言ってください。 音声を事前に登録する必要がある機器では登録者の声のみ認識します。
	<p>Bluetoothオーディオプレーヤーの再生中に音が飛んだり、途切れる</p> <ul style="list-style-type: none"> Bluetooth機器を本機に近づけてください。 本機の電源をオフにして、またオンにして接続し直してください。 他のBluetooth機器の電源をオフにするか、Bluetooth機器を遠ざけてください。
	<p>接続しているBluetooth機器が操作できない</p> <ul style="list-style-type: none"> 接続しているBluetooth機器がAudio/Video Remote Control Profile (AVRCP) に対応していることを確認してください。(お使いのオーディオプレーヤーの説明書をご覧ください) Bluetooth機器を接続し直してください。
	<p>"NOT SUPPORT"</p> <p>携帯電話が音声認識または電話転送に対応していません。</p>
	<p>"NO ENTRY"/ "NO PAIR"</p> <p>登録済の機器が接続されていません。</p>
	<p>"ERROR"</p> <p>もう一度操作をしてください。"ERROR"とまた表示されたときは、お使いの機器が使おうとしている機能に対応しているか確認してください。</p>
	<p>"NO INFO"/ "NO DATA"</p> <p>電話番号などの連絡先のデータがありません。</p>
	<p>"HF ERROR XX"/ "BT ERROR"</p> <p>本機をリセットしてもう一度操作してください。それでもエラーメッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。</p>
<p>"SWITCHING NG"</p> <p>接続している携帯はこの機能に対応していません。</p>	
<p>本機とBluetooth機器</p> <p>使っていないBluetooth機器の登録を本機から削除してください。(➡22)</p>	

その他の情報

一般

下記についてはホームページをご覧ください。

<<http://www.kenwood.com/jp/car/>>

- 再生可能なオーディオファイルについての詳細
- 最新ファームウェアへのアップデート
- 本機に接続できる機器について
- KENWOODオリジナルアプリ
- その他の最新情報

再生できるファイル

- 再生可能なオーディオファイル：
ディスクについて：MP3 (.mp3)、WMA (.wma)、AAC (.aac)
USBマストレージクラス機器：MP3 (.mp3)、WMA (.wma)、AAC (.aac)、AAC (.m4a)、WAV (.wav)、FLAC (.flac)
 - 再生可能なディスク：CD-R/CD-RW/CD-ROM
 - 再生可能なディスクのフォーマット：ISO 9660 Level 1/2、Joliet、Long file name
 - 再生可能なUSB機器ファイルシステム：FAT12、FAT16、FAT32
- オーディオファイルが上記に対応していても、メディアや機器のタイプや状況により再生できないことがあります。
- iTunesでエンコードされたCDのAAC (.m4a) ファイルは本機では再生できません。

USB機器について

- USBハブを介してUSB機器を接続することはできません。
- 全長5 m以上のUSBケーブルを使っているときは、再生不良の原因となります。
- 本機は消費電流が5 V以外、1.5 A以上のUSB機器は認識できません。

iPodまたはiPhoneについて

- USB接続：
Made for
 - iPod touch (5thおよび6th generation)
 - iPod nano (7th generation)
- iPhone 4S、5、5S、5C、6、6 Plus、6S、6S Plus、SE、7、7 Plus、8、8 Plus、X

- Bluetooth接続：
Made for
 - iPod touch (5thおよび6th generation)
 - iPhone 4S、5、5S、5C、6、6 Plus、6S、6S Plus、SE、7、7 Plus、8、8 Plus、X
- “MODE OFF”の“Videos”メニューで画像ファイルを探すことはできません。
- 本機の選択メニューに表示される曲順はiPod/iPhoneのものと異なることがあります。
- iPodに“KENWOOD”または“✓”と表示されているときは、iPodの操作はできません。
- iPodまたはiPhoneのOSのバージョンによっては、本機ではご利用になれない機能があります。

Androidについて

- 本機はAndroid OS 4.1以降に対応しています。
- AndroidによってはOSが4.1以降であっても、AOA 2.0に対応していないことがあります。
- お使いのAndroidがマストレージクラス機器とAOA 2.0の両方に対応しているとき、優先的にAOA 2.0で再生されます。

Spotifyについて

- Spotifyアプリは以下の機器に対応しています：
 - iPhone 4S、5、5S、5C、6、6 Plus、6S、6S Plus、SE、7、7 Plus (iOS 8以上)
 - iPod touch (5thおよび6th generation)
 - Android OS 4.0.3以上
- Spotifyはサードパーティのサービスであるため、仕様は予告なく変わる場合があります。したがって、互換性がなくなったり、サービスによってはご利用できなくなる場合もあります。
- 機能によっては本機でご利用になれない場合があります。
- アプリについて詳しくは、<www.spotify.com>をご覧ください。

Bluetooth機器について

- Bluetoothのバージョンによっては、本機と接続できないことがあります。
- Bluetooth機器によっては、本機で使用できないことがあります。
- 周囲環境により、接続環境も異なります。

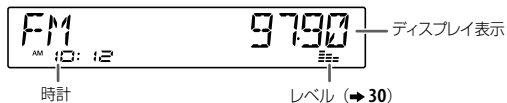
その他の情報

ディスプレイの表示を変更する

【DISP】を押すと、表示される情報が変わります。

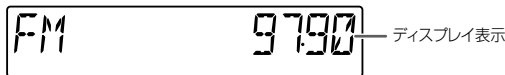
- 情報がない場合、または記録されていない場合は“NO TEXT”または“NO INFO”、その他の情報（放送局名など）が表示されるか、何も表示されません。

U380BT の場合：



音源	ディスプレイ表示の内容
STANDBY	音源名 → 日付 → (最初に戻る)
RADIO	周波数 → 日付 → (最初に戻る)
CDまたはUSB機器	音楽CDの場合： ディスク名/アーティスト → トラック名/アーティスト → 再生時間 → 日付 → (最初に戻る) MP3/WMA/AAC/WAV/FLACファイル： 曲名/アーティスト → アルバム名/アーティスト → フォルダ名 → ファイル名 → 再生時間 → 日付 → (最初に戻る)
iPod USB/ iPod BT	“MODE OFF”が選ばれているときのみ (→16)： 曲名/アーティスト → アルバム名/アーティスト → 再生時間 → 日付 → (最初に戻る)
ANDROID	音源名 → 日付 → (最初に戻る)
SPOTIFY/ SPOTIFY BT	コンテキスト名 → 曲名 → アーティスト → アルバム名 → 再生時間 → 日付 → (最初に戻る)
BT AUDIO	曲名/アーティスト → アルバム名/アーティスト → 再生時間 → 日付 → (最初に戻る)
AUX	音源名 → 日付 → (最初に戻る)

U340BT / U340BMS の場合：



音源	ディスプレイ表示の内容
STANDBY	音源名/時計 → 時計 → (最初に戻る)
RADIO	音源名/時計 → 周波数 → 時計 → (最初に戻る)
CD (U340BT の場合) またはUSB	音楽CDの場合： 音源名/時計 → ディスク名/アーティスト → トラック名/アーティスト → 再生時間 → 時計 → (最初に戻る) MP3/WMA/AAC/WAV/FLACファイル： 音源名/時計 → 曲名/アーティスト → アルバム名/アーティスト → フォルダ名 → ファイル名 → 再生時間 → 時計 → (最初に戻る)
iPod USB/ iPod BT	“MODE OFF”が選ばれているときのみ (→16) 音源名/時計 → 曲名/アーティスト → アルバム名/アーティスト → 再生時間 → 時計 → (最初に戻る)
ANDROID	音源名/時計 → 時計 → (最初に戻る)
SPOTIFY/ SPOTIFY BT	音源名/時計 → コンテキスト名 → 曲名 → アーティスト → アルバム名 → 再生時間 → 時計 → (最初に戻る)
BT AUDIO	音源名/時計 → 曲名/アーティスト → アルバム名/アーティスト → 再生時間 → 時計 → (最初に戻る)
AUX	音源名/時計 → 時計 → (最初に戻る)

配線・取り付け

基本的な手順

- 1 エンジンスイッチをオフにして、バッテリーの⊖端子をはずす
- 2 各ワイヤーを正しく接続する
「配線のしかた」をご覧ください。(➡36)
- 3 本機を車両に取り付ける
「本機を取り付ける（インダッシュの取り付け）」をご覧ください。
- 4 取り付け終了後にバッテリーの⊖端子を接続する
- 5 [⏻ SRC] を押して本機の電源をオンにする
- 6 操作パネルを取りはずして5秒以内にリセットをする (➡11)

取り付けについて

別売品のワイヤリングキットや取り付けキットを使えば、お使いのお車に最適な方法で取り付けができます。

- キットは取り付ける車種に応じて用意されています。詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

付属ネジ

(A)		トラスネジ (M5 × 6 mm)	× 4
(B)		サラネジ (M5 × 7 mm)	× 4
(C)		セムスネジ (M4 × 8 mm)	× 1

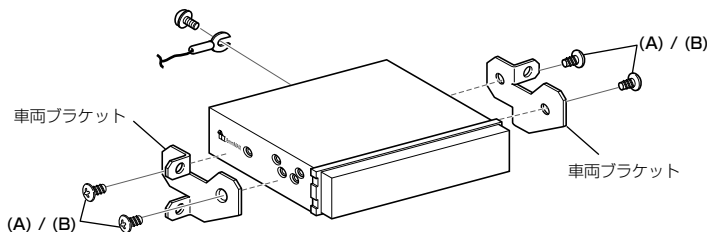
本機を取り付ける（インダッシュの取り付け）

△注意

本機を取り付けの際には、必ず付属のネジをご使用ください。

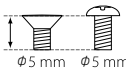
- 付属ネジより長いネジを使うと、本機内部を傷つけたり、火災になる恐れがあります。
- 付属ネジより短いネジを使うと、本機が車両ブラケットからはずれる恐れがあります。
- トラスネジとサラネジが付属されています。車両に合ったネジをお使いください。

ワイヤリングキット（別売品）にアースコードがあるときは、付属ネジ（C）で固定します。



車両ブラケットのネジ穴の形状に合わせて、付属ネジ（A）または（B）で固定します。

8 mm 以内



本機の取り付け時の傾斜角度は30°以下になるように取り付けてください。30°以上の角度で取り付けると音飛びの原因となります。

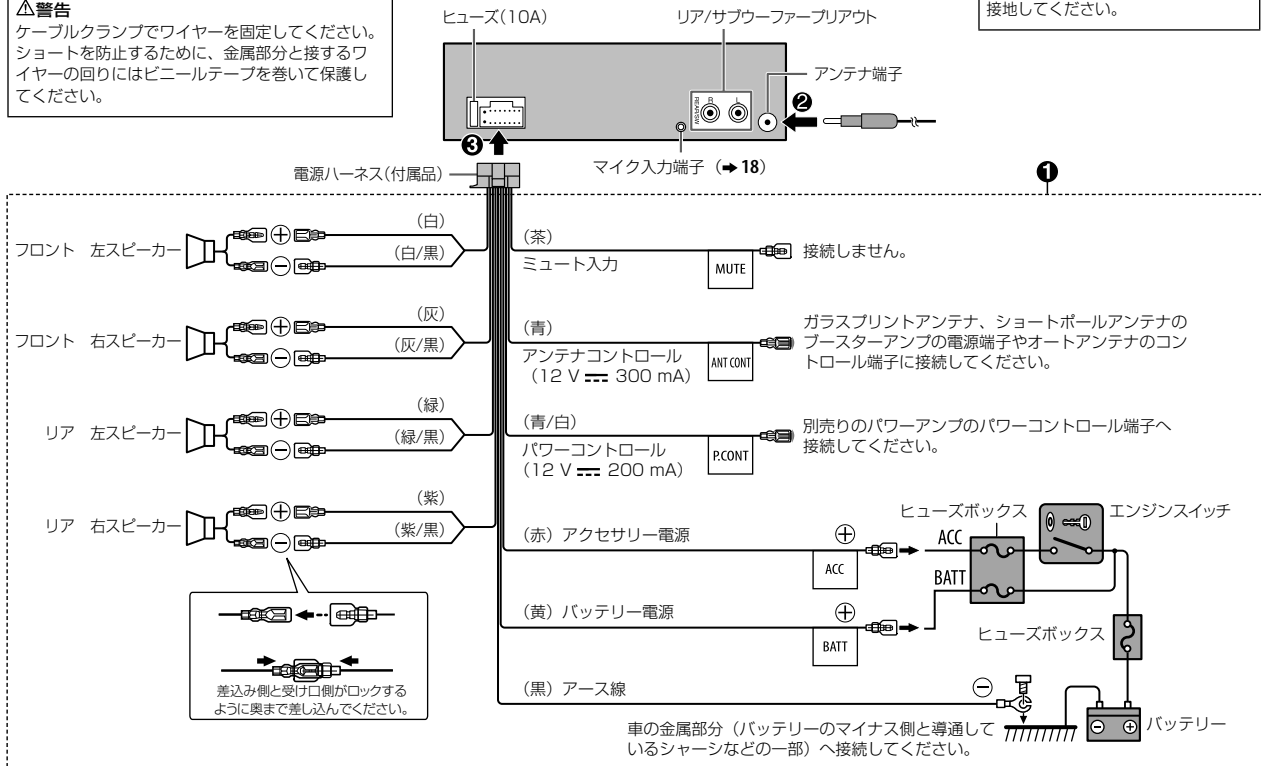
配線・取り付け

配線のしかた

⚠警告

ケーブルクランプでワイヤーを固定してください。ショートを防止するために、金属部分と接するワイヤーの回りにはビニールテープを巻いて保護してください。

外部アンプに接続する場合は、本機を保護するため、アース線をシャーシに接地してください。



保証とアフターサービス（必ずお読みください）

■ 保証について

保証書

この製品には、保証書を添付しております。

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げの日より1年です。

■ 修理に関するご相談は

修理などアフターサービスについては、当社ホームページまたはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

・ ホームページ

<http://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>

・ JVCケンウッドカスタマーサポートセンター

0120-2727-87（固定電話からはフリーダイヤル）

0570-010-114（携帯電話、PHSからはナビダイヤル）

045-450-8950（一部IP電話など）

受付時間などは裏表紙を参照してください。

■ 修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」(➡30)または当社ホームページのFAQを参照してお調べください。それでも異常があるときは、本機の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

保証期間中は...

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはJVCケンウッド・サービスが修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後は...

お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

補修用性能部品の保有期間

本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後6年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

- ・ 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒に持ちください。（本機と一緒に持ち込まれるユニット内のディスクなどのメディアはあらかじめ取り出してください。）
- ・ 本機を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

修理料金のしくみ(有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。)

技術料： 製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。

部品代： 修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材等を含む場合があります

仕様

チューナー部	FM 受信周波数範囲	76.0 MHz ~ 99.0 MHz (100 kHz)
	実用感度 (S/N=30 dB)	8.2 dBf (0.71 μ V/75 Ω)
	S/N46dB感度	17.2 dBf (2.0 μ V/75 Ω)
	周波数特性	30 Hz ~ 15 kHz (\pm 3 dB)
	S/N比	64 dB (MONO)
	ステレオセパレーション	40 dB (1 kHz)
	AM 受信周波数範囲	522 kHz ~ 1 629 kHz (9 kHz)
	実用感度 (S/N=20 dB)	29 dB μ (28.2 μ V)
CDプレーヤー部 (U380BT U340BT)	レーザーダイオード	GaAlAs
	デジタルフィルター (D/A)	8倍オーバーサンプリング
	回転数	500 rpm ~ 200 rpm (線速度一定)
	ワウ&フラッター	測定限界以下
	周波数特性	20 Hz ~ 20 kHz (\pm 1 dB)
	高調波歪み率	0.01 % (1 kHz)
	S/N比	97 dB (1 kHz)
	ダイナミックレンジ	92 dB
	チャンネルセパレーション	90 dB
	MP3デコード	MPEG-1/2 Audio Layer-3準拠
WMAデコード	Windows Media Audio準拠	
AACデコード	AAC-LC “.aac”ファイル	

USB	USB規格	USB 1.1、USB 2.0 (Full speed)
	ファイルシステム	FAT12/16/32
	最大供給電流	DC 5 V \equiv 1.5 A
	MP3デコード	MPEG-1/2 Audio Layer-3準拠
	WMAデコード	Windows Media Audio準拠
	AACデコード	AAC-LC “.aac”、“.m4a”ファイル
	WAVデコード	リニアPCM
	FLACデコード	FLACファイル (96 kHz/24 bitまで対応)
Bluetooth部	規格	Bluetooth 3.0
	受信周波数範囲	2.402 GHz ~ 2.480 GHz
	RF出力電源 (E.I.R.P.)	+4 dBm (最大)、パワークラス 2
	最大通信距離	約10 m
	プロファイル	HFP 1.6 (Hands-Free Profile) A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) AVRCP 1.5 (Audio/Video Remote Control Profile) SPP (Serial Port Profile) PBAP (Phonebook Access Profile)
AUX入力	周波数特性	20 Hz ~ 20 kHz (\pm 3 dB)
	入力最大電圧	1 000 mV
	入力インピーダンス	30 k Ω

仕様

オーディオ部	最大出力	50 W × 4	
	定格出力	30 W × 4 (4 Ω、1 kHz、10 % THD以下)	
	スピーカーインピーダンス	4 Ω ~ 8 Ω	
	オーディオコントロール	Band 1 :	62.5 Hz ± 9 dB
		Band 2 :	100 Hz ± 9 dB
		Band 3 :	160 Hz ± 9 dB
		Band 4 :	250 Hz ± 9 dB
		Band 5 :	400 Hz ± 9 dB
		Band 6 :	630 Hz ± 9 dB
		Band 7 :	1 kHz ± 9 dB
	Band 8 :	1.6 kHz ± 9 dB	
	Band 9 :	2.5 kHz ± 9 dB	
	Band 10 :	4 kHz ± 9 dB	
	Band 11 :	6.3 kHz ± 9 dB	
	Band 12 :	10 kHz ± 9 dB	
	Band 13 :	16 kHz ± 9 dB	
	プリアウトレベル (CD)	2 500 mV/10 kΩ	
	プリアウトインピーダンス	≤ 600 Ω	
一般	電源電圧	12 V DC バッテリー	
	埋込寸法 (幅×高さ×奥行)	178 mm × 50 mm × 155.5 mm	
	質量	1.1 kg	

仕様およびデザインは、予告なく変わる場合があります。

- Microsoft and Windows Media are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.
- Use of the Made for Apple badge means that an accessory has been designed to connect specifically to the Apple product(s) identified in the badge and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with an Apple product may affect wireless performance.
- Apple, iPhone, iPod, iPod nano, iPod touch, iTunes, and Lightning are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.
- The trademark "iPhone" is used in Japan with a license from Aiphone K.K.
- IOSは、Ciscoの米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- The "AAC" logo is a trademark of Dolby Laboratories.
- SPOTIFY and the Spotify logo are among the registered trademarks of Spotify AB.
- The Bluetooth® word mark and logos are registered trademarks owned by the Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by JVC KENWOOD Corporation is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.
- Android is a trademark of Google LLC.

libFLAC

Copyright (C) 2000-2009 Josh Coalson

Copyright (C) 2011-2013 Xiph.Org Foundation

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

- 商品に関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

0120-2727-87 (固定電話からはフリーダイヤル)

0570-010-114 (携帯電話、PHSからはナビダイヤル)

045-450-8950 (一部IP電話など) / FAX 045-450-2308

住所 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

受付時間 月曜～金曜: 9:30～18:00

土曜: 9:30～12:00, 13:00～17:30 (日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

- 修理などアフターサービスについては、当社ホームページ <http://www.kenwood.com/jp/cs/service.html> または JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。